

# 令和5年度県北地区読書支援者育成事業研修会

令和5年7月1日（土）福島県自治会館において、子どもの読書活動推進に向けて活動する方々の専門的な知識や技術の向上を目的として、標記研修会を開催しました。



## 講義・演習「科学の本って面白い！」

科学読物研究会 坂口 美佳子



子どもたちと科学の本を楽しむコツやおすすめの科学の本の条件、使い方等についてお話をいただきました。

### 魅力的な科学の本の条件

- ① 一つの真理を子どものペースに合わせてじっくり説いてある
- ② 面白い発見がある
- ③ 体験とセットで楽しめる



演習では、身近にある物（トイレトペーパーの芯、紙コップ等）を使った実験を通して、科学読物において直接体験と間接体験を結びつけることがとても大切であるということを実感することができたようです。

### <参加者の声>

- 時間を忘れるくらい楽しかった。科学絵本の使い方、効果的な読み聞かせの仕方が分かった。
- さっそくお話会や読み聞かせで実践してみたい。

## 震災語り部サポーター養成の活動「絵本で子どもたちに伝えたい思い」

絵本作家 すとう あさえ



絵本『はしれ ディーゼルきかんしゃデーデ』の読み聞かせと、絵本を書いたきっかけや制作途中のエピソード、絵本のもつ力についてお話をいただきました。

「被災地に一刻も速く燃料を届けたい」という大勢の方々の思いと、作者の「この事実を子どもたちに伝えたい」という思いが伝わるお話でした。絵本は形に残り、読み継がれていくものです。参加者の震災を語り継いでいきたいという思いも高まったようでした。

### <参加者の声>

- 思い出して涙ぐんでしまった。これまで触れてこなかった部分だが、これからは自分なりに取り組みたい。
- 福島で生活していても震災のことは忘れがちになっているので語り継ぐことの大切さを改めて思い出した。



## 震災語り部サポーター養成の活動とは？

震災から10年を迎えた令和2年度、復興創生期間（第1ステージ）の終了に伴い、県内の現状と課題が整理され事業の再構築が図られました。そこで震災の記憶の風化が進む現状、震災関連学習が思うように実施できていない現状が明らかとなりました。

震災語り部（団体）は決して多くなく、予算面等からも県内全域の学校をカバーすることは不可能です。そこで「読み聞かせボランティア」の方々に語り部サポーターとしても活動していただくことで、現状打破の一助となっただけだと考えております。

「語り部活動」といっても、語り部さんのような本格的な活動をイメージしているのではなく、3月11日に近い読み聞かせの場で震災関連書籍や、ふくしま道徳資料集、詩などを取り上げていただくことで、子どもたちが震災について知る、考えるきっかけとなるような活動のイメージです。

『ありがとう』  
小学5年生 菊田 心くん

文房具ありがとう  
えんぴつ、分度器、コンパス大切にします。  
花のなえありがとう  
お母さんとはちに植えました。  
花が咲くのが楽しみです。  
うちわありがとう  
あつい時うちわであおいでいます。  
くつをありがとう  
サッカーの時とつてもけりやすく、  
いっしょうけんめい走っています。  
クッキーありがとう  
家でおいしく食べました。  
さんこう書ありがとう  
勉強これからがんばります。  
図書カードありがとう  
本をたくさん買いました。  
やさそば作ってくれてありがとう  
おいしくいっぱい食べました。  
教室にせん風機ありがとう  
これで勉強はかどります。  
応援の言葉ありがとう  
心が元氣になりました。  
最後に  
おしいちゃん見つけてくれてありがとう  
さよならすることができました。

東京五輪で、隣国の選手団が福島県産食材を拒んだことに、震災を知らない子どもたちは心を痛めました。今後数十年続く「フクシマ」への心ない風評被害に遭ったとき、「黙らず、怒らず、正しい知識で話せる」子どもを育成するために、そして郷土の誇りを失わないために、ご協力をお願いいたします。

## 「情報交換」

同じような立場の他地区の方と、日頃の活動や、特色ある取組、工夫、アイデア等についての情報交換をしました。

貸出の電算化が進んでおり、タブレットから図書室の本を見ることができます。

「読書郵便」や「ブックリスト」など様々な取組をしています。



読み聞かせにはモニターやスクリーンを活用しています。

デイサービスでは様々な本の読み聞かせが好評です。

### <参加者の声>

- 司書の活動は一人仕事になりがちなので、このような情報交換の場は貴重だと思った。
- 情報交換ができてよかった。同じように活動されている方々がいて心強かった。



読書活動に関するお問い合わせは県北教育事務所総務社会教育課 伊藤まで  
(電話 024-521-2814 E-mail itou\_emi\_O2@pref.fukushima.lg.jp)